



第128号 (季刊)
平成30年10月
田中野田町内会

<http://townweb.e-okayamacity.jp/tanakanoda/>



平成30年7月西日本豪雨について

田中区長(町内会副会長) 7組 中尾 三千義

区長の仕事というのは、本来、田中、田中野田地区の農業用水の管理をする仕事です。通常は農業用水を稲作等に適量に供給するための仕事ですが、近年は台風の来襲やゲリラ豪雨などがあつたりして川の水位が増した場合、道路などが冠水をしないように【田中水門ポンプ場】

(御南中学校西の笹ヶ瀬川土手にある)に待機し排水管理をする方のウエイトが高くなっています。(今年のポンプ操作員は中尾昭義さん、長瀬節昭(田中)さん、平松里志さんと私の4人です)

7月5日の「西日本豪雨」のことを報告致します。真備町はじめ県下いたるところで甚大な被害が発生したことは皆様ご存知の通りです。台風来襲でもないのに、豪雨による想定外の被害になってしまいました。災害が少ないといわれてきた岡山県民としてもこの度は大きなショックでした。

西日本豪雨で今回我々樋守4人は、7月5日の19時から田中ポンプ場に詰め、ポンプを稼働させて、有事に備えていました。笹ヶ瀬川の水位が内水の水位を超えると水が逆流してきて、道路が水を被るとか床下浸水を起こすとかの被害が発生するので、そのような被害を防ぐため状況を見極めてポンプ場にはいり、笹ヶ瀬川への強制排水をします。普段流している放流口を閉め、ポンプ井戸への流入口を開けて3台あるポンプを稼働させて増えてきた水を笹ヶ瀬川へ排水します。

今回は、田中ポンプ場の他に支援学校の南にある【辰巳水門】の排水ポンプもフル稼働させていた。6日23日23時20分頃、旭西浄化センターより現場へ連絡があり、笹ヶ瀬川の水位が増し危険なので退去するよう「退去命令」が出た。ポンプ操作盤のスイッチを「旭西浄化センター」に切り替えて、7日1時過ぎ全員現場を離れた。30時間余り現場に詰めていたことになる。退去命令による退去は初めての経験でしたが、我々の田中地区ではお蔭なことに大した害もなく済みました。あのまま水が増え続けていたら真備町のような事になっていたかもしれないと思うとぞっとしますが、ポンプがあるお蔭で何とか無事に過ごせたのではないかと考えています。ポンプ場設置に尽力された先人に感謝申し上げますと共に、ポンプの稼働中は、大きな音が発生するので、ご近所にはご迷惑をおかけしましたが、夜を徹しての我々の努力と被害を防げたことに免じてご容赦いただきたいと思います。

この度、西日本豪雨で被災された御南学区笹ヶ瀬川西側の方々に災害お見舞いを申しあげますとともに1日も早く普段の生活に戻れますよう併せてこの地区に早急に排水ポンプ場の整備を切望いたします。

9月定例岡山市議会に於いて、12日大森市長から笹ヶ瀬川西側の地域で計画している排水ポンプの

完成目標時期を2年前倒し、2022年度とする方針が示された。(基本設計費が計上された)